金子みすゞの世界

金子みすゞおいたち

西暦	和暦	年齢	年譜
1903	明治36年	0歳	4月11日、父金子庄之助、母とその弟妹として山口県仙崎（今の長門市）に生まれる。本名テル
1906	明治39年	3歳	2月、父庄之助、朝鮮渡口で死去 金子家は下関の上山文英堂の仕送で書店を営む
1919	大正8年	16歳	8月、母ミチ山文英堂主人松蔵と再婚
1920	大正9年	17歳	山口県の大津郡立大津高等女学校を卒業
1923	大正12年	20歳	4月、兄堀治の結婚を機に下関の母のもとに移り住む 6月、ペンネームをイで難波に童謡の投稿を始め、以降約90編を発表する。投稿した雑誌『童謡』は当で大正期の代表詩人西條八十から「若き童謡詩人の中の巨星」と称賛される
1925	大正14年	22歳	11月、台湾詩集『都市風』を始める
1926	大正15年	23歳	2月、上山文英堂店員と結婚 7月、童謡詩人協働『日本童謡集』に「大漁」「土笛」が掲載される 11月、若山牧水と面会
1927	昭和2年	24歳	8月、西條八十と下関駅で会う
1929	昭和4年	26歳	10月、雑誌みすゞの行方を記した「『南京』を始める
1930	昭和5年		2月9日、『南京』を止む 2月27日、離婚 3月9日、下関市の三好写真館にて写真を撮る 3月10日、上山文英堂にて死去 享年満26歳 （参照『人魚子みすゞ』（白金堂）、『JALFLIGHT』より抜粋）

山口県
仙崎
青海島
仙崎港
みすゞ通り
仙崎小学校
仙崎郵便局
仙崎漁協
仙崎漁港
仙崎灯台
仙崎八幡宮
仙崎八幡宮
仙崎八幡宮